

# 品川支部

令和三年6月1日発行  
〒141-0022  
品川区東五反田1-8-5  
Tel. 3442-7075

## 6月

天理教品川支部（豊英分教会内） 発行責任者 栗原薫 編集 支部編集部

## 新型コロナへのワクチン 接種開始

品川区では、75歳以上の方は約4万6千人ということで、すでに接種された方も多いと思いますが、その供給量は既に100%超えですが、5月27日現在予約されている方は区内の接種会場だけでも57%だそうです。

第二陣の65から75歳までの方は4万人でワクチンの確保もすでに90%を超えていて予約がとれた時点では十分の量が確保されているとのことで接種も指定時間に行けば早ければ30分程度で終わるそうです。

又、医師会等との折衝も相当のステージまで上がり、今後近くで行きつけの病院で受けられるケースも増えていく見込みと言うことでした。

65歳以上の方の受付が14日からですから、現在は75歳以上の方はかなりスムーズに予約が取れるようですので、希望され、混んでいて予約出来なかった方は今からでも十分間に合います。

接種は強制ではなく、報道で少し怖いと思われていますが、私どもは人助けが信条の教会従事者で人と接触しなければなりませんので積極的に受けようと思います。



接種会場

### ☆支部行事のお知らせ

・支部例会（二十九日千葉での移動例会）

今月は移動例会につき一般参加は有りませんが、状況により開催できない場合は二十二日までに関係者に連絡致します

・今月の幹事会は

都庁提出書類の都合上会場は

豊英分教会で六時からになります

・神名流し・在宅センターひのきしん

につきましては引き続き開催見送りです

・教区ひのきしん

担当は日本橋組ですが、この状況下、中止です

### ☆教務支庁からのお知らせ

・子供おちば帰り 少年ひのきしん隊

七月二十四日夜出発（日本橋大教会から）  
予定で募集しておりました少年ひのきしん隊は、本部の子供おちば帰りの中止に伴い募集も中止致しました。

・東京わかぎ塾（中学生錬成会）

中学生を対象に第十三回東京わかぎ塾は五月二十九、三十日開催予定でしたがコロナ状況下で延長する事が決まりました。

・本部からのお知らせ

・立教百八十四年

・こどもおちば帰り中止

七月二十七日から八月五日にかけて開催を予定しておりました「立教百八十四年

こどもおちばがえり」は、新型コロナウイルスの感染が拡大している状況に鑑み、やむなく中止することとなりました。

参加を楽しみにされていた皆様には、残念な思いをおかけしますが、何卒ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

・六月期の修養科と各講習会などについて

五月期に引き続き、六月期も修養科生の受け入れを行います。

また、五月二十七日開講の教員資格講習会と教会長資格検定講習会を実施するとともに、六月四日から三日講習会②、六月十八日からの同①についても開催いたします。

なお、修養科の志願者ならびに各講習会の受講を希望する方は、くれぐれも体調管理につとめていただきますようお願いいたします。

拠点教会	6日号	13日号	20日号	27日号
日本橋	直送	直送	直送	直送
本 荏	直送	直送	直送	直送
都 南	直送	直送	直送	直送
三ツ木	直送	直送	直送	直送
水豊田	直送	直送	直送	直送

時報手配り六月予定

また、手配りは早いので、事でも直送です

# 品川支部例会

## 今月は29日(土)の移動例会になります、通常の形式の例会は有りません。

## 次回7月は、鶴平分教会の会場で行われます。

## 例会は毎回会場を変えて、お住まいの近くの方に参加して頂きやすいよう行われております。

## お近くの会場の折は是非ご参加頂きますようお願いいたします。

**\*\*尚,変更の場合は22日迄に教会に通知致します**

### 今出来るお助け

#### 本品川分教会



新型コロナウイルス感染拡大も三月あたりはだいぶ落ち着いて上級の本芝大教会では、少年会の例年行事を感染症対策で規模を縮小しながらも、無事につとめることができた。

またおちばでは、所属の社会福祉課での社会福祉大会を参加者を制限して開催する予定であったが、四月に入り今まで見られなかった感染力の高い変異株の感染が拡がり、結果オンラインによるライブ配信のみの開催となつてしまった。

おかげさまで私の周りでは今のところコロナに感染したという話は聞かない。母が高齢であるのをはじめ、信者さんも高齢の方が多く、子供たちは学校やアルバイトと不安材料はたくさんあるが、感染するもしないも親神様教祖にお働きいただき

このような状況下で大教会の月次祭において成人目標をご発表いただき、その中に「おつとめで人のたすかりを願ひ、世の中の治まりを願おう」とあった。「ああそうだ。何も難しいことをする必要はない天理教の基本はつとめとさづけだ。毎日十二下りを真剣につとめて感染拡大の一日も早い終息と教会のご信者さんをはじめすべての方々の感染防止をお願いさせていたたこう。」と思ひ立つた。今までも何か身上事情で大教会の奥様にご相談申し上げると「十二下りをつとめなさい。事情身上も変わつてきますよ。」とお話いただき、今までも困難にぶつかるとすぐに十二下りをつとめるようにしていた。

現在の月次祭に、大教会では、講話に代わつて大教会長メッセージをお出しくださっている。その中で、今回は内統領先生のお話を取り上げておられていますが、

「人をたすける心は真の誠」・中略：(人は)それぞれに親神様から託されたおたすけがあるはずであります。何からでも始めていきましよう。まずは自身身の実動の心定めでありませう。そして、その上で、案じるとか、疑うとか、我が身思案といった心をすっきり捨て切つて、心を揃えてご守護を願ひたいと思ひます。」とありました。

それは世界中の人々みんなが互いにたすけあつて陽気暮らしができる心になつてもらいたいからであると思ふ。感染しないように気を付けるのはもちろん大切だが、感染した人を誹謗中傷するようなことは決してあつてはならない事である。一番つらいのは感染しているご本人とそのご家族なのだから。いたわりや慰めの心を持つて接させていたたこうの大切さをお道の者から世界へ発信していきたい。これが大きなおたすけに繋がるはずである。

今後とも、感染拡大の早期終息と、周りの方々が感染しないで元氣に通られるように、毎日十二下りのおつとめを続けながら、自分の普段のつとめをしつかり果たしていきたいと思つてゐる。

